

1. 評価結果概要表

作成日 平成 22年 2月 6日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902702		
法人名	有限会社 Freedom		
事業所名	グループホーム プランタンV		
所在地	旭川市9条通15丁目24番地 (電話) 0166-25-0656		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成22年2月3日	評価確定日	平成22年4月9日

【情報提供票より】 (平成22年 1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 3月 31日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 6人, 非常勤 10人, 常勤換算	13.0人

(2) 建物概要

建物構造	RC 造り	
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (2月 1日現在)

利用者人数	17名	男性 5名	女性 12名
要介護1	0名	要介護2	5名
要介護3	6名	要介護4	2名
要介護5	4名	要支援2	0名
年齢	平均 83歳	最低 73歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科医院、林歯科
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

比較的に介護度が高い利用者が多い中、「個性を最大限尊重しながら、和やかな暮らしの継続」が管理者及び職員の弛まぬ努力によって支援されています。1階のコンクリートで造られた大きな浴槽も、事前に温められ、床面のシートにもお湯を通して温かな入浴を楽しんでもらうとの気配りをしています。新型のインフルエンザも旭川市内に流行の兆しがあり、運営者は利用者の感染を防ぐため、従来の地域交流や外出にも制限を加えるなど利用者の命を守る徹底した取り組みが行なわれています。併設の整骨院での施術サービスも利用者の健康の継続を願う一環として行なわれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で改善課題としての取り組み項目は7項目に亘りましたが、管理者及び職員の努力により4項目(地域とのつきあい、職員を育てる取り組み、重度化や終末期に向けた方針の共有、プライバシーの確保の徹底)の改善が見られます。残された3項目は現在改善に向けた取り組み中で、今回の課題として継続した取り組みが期待されます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価作成に当たっては、全職員が日頃のサービスについて振り返り、気づきを出し合いながら作られています。外部評価の項目意外でも気づきによる取り組みが明示されており、これらの取り組みによりサービスの質の向上が図られるものと思慮し外部評価での課題と合わせて改善への取り組みを期待します。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議の内容も、タイムリーな題材により出席者の助言を引き出すなどの努力が見られますが、メンバーでは家族や地域の住民が少なく、加えて地域包括支援センターの職員、市の担当職員の出席が無いなど、地域に根ざしたサービスの向上を目指すホームの運営として充分ではありません。ホームの状況を報告に加えて、評価への取り組みの進捗状況も報告しながら意見を聞くなどの取り組みが望まれます。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>訪問頻度が高く、家族の訪問時を利用して意見や要望、また苦情を伺うようにしています。意見や要望に対しては聞き流しをせずに管理者に報告し職員全体が共有しながらホームの運営に反映しています。職員間では「意見箱」の有効利用に加え苦情等の窓口を会報で周知し、より多くの意見、要望や苦情を収集する検討に入っています。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>昨年からの取り組み課題ではありますが、町内会自体が高齢者が多く事業が少ない状況にあって、ホームにあっては地域との付き合いを増やして行こうとの努力が認められます。従来からの親しく交流を重ねている近隣の中学校とは、職場体験学習の受入れや合唱コンクールに招かれるなど利用者にとっても喜びの時間を提供してくれています。今年の場合にはもっと数多くの交流を予定していましたが、インフルエンザの流行に対応して外出を控えるなど交流の機会が失われています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は、文章的が長く改善の方向で現在話し合いが持たれており、これを契機として地域に密着した利用者の暮らしの支援について理念に反映するよう盛り込む作業が進んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び職員は、多忙な業務の中にあって運営理念の再確認を密にするため、月2回開催のユニット会議で話し合う機会を持つようにしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	昨年からの取り組み課題ではありますが、町内会の事業自体が消極的な関係で地域との付き合いは進展していない中、地元中学校の職場体験学習で生徒の訪問を受けたり、学校の合唱コンクールに招待されるなど、徐々ではありますが拡大しています。今年の場合、インフルエンザの大流行などで外出を慎む事態もあり頻度的には減少が見られました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が参加して自己評価が行なわれました。職員は評価の意義を理解しつつ、日頃のサービスを振り返りながら関係項目の記入を行なっています。また、前年度の取り組み課題は7項目に亘りましたが、数項目に亘り具体的な改善による成果が見られます。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの行事の報告、「インフルエンザ対策」「水分摂取の大切さ」など身近なテーマに沿った報告や質疑が行なわれていますが、家族及び地域の住民、また、地域包括支援センターの職員の出席が欠けているなど、地域に根ざした会議の運営では充分ではありません。	○	地域密着型サービスの事業所としての活動状況、利用者の様子などを報告しながら、地域に開かれたサービスの質の確保するため、外部評価の改善の取り組みや地域交流促進のための話し合いが会議のメインとなります。家族や地域住民、市の担当者や地域包括支援センターの職員を加えた多くのメンバーによる会議の活性化が望まれます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームに近い市役所の窓口には、介護保険、生活保護などの質問を行なうなど連携に努めていますが、これからは評価で得られた改善への取り組みなども報告しながら、サービスの質の向上に向けた連携を図るよう計画しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に発行し家族のもとに送られる「プランタン通信」には、利用者の写真や利用者の暮らしの様子などが記載され、家族の安心に繋がっています。現在、この通信の効率を図るため紙面の改善を含む検討が行なわれています。また、訪問時の機会を捉えた報告や訪問できない家族への報告も蜜にするなど家族との絆を大切にしています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問頻度が高いため、訪問時の家族との会話を大切にしながら意見や要望、不満など聞き取り、職員間で共有しながらホーム運営に反映させています。意見箱の利用案内及び外部の苦情などの申し立て窓口の紹介も「プランタン通信」の利用を考えるなど検討されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在、職員の退職などが少なく、ベテランの職員が利用者への支援をしっかりと行なっています。これまでも馴染みの職員の異動があった際には、利用者のダメージを最小限に抑えながら新人職員への馴染みの関係を早期に作るなど配慮しています。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員のスキルアップを図りサービスの質の向上を目指すことを目的に、外部から流れる研修会などの情報は全ての職員に紹介し受講を促しています。特に介護福祉士などの資格取得のため職員のシフトの調整など便宜を図り支援しています。また、受講後は全体会議の中で研修内容の報告が行なわれ、共有が図られています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	プランタングループ内では、研修会や職員の交流を行ないながらサービスの向上に向けた取り組みが行なわれています。ただ本年の場合、インフルエンザのパンデミックはここ旭川でも流行の兆しから、運営者は他との交流を避けて感染予防に専念するよう指示をしています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の場合は本人と家族が事前訪問をしていただき、入居後の不安の解消や本人、家族の希望を聞きながら、ホームでの生活に馴染めるよう納得のいく説明をしています。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者のこれまでの暮らしの状況を把握しながら、本人の尊厳を大切に考え、できることへの支援を行い、また、生活の知恵を教わるなどゆったりとした時間の流れの中で良い関係作りに努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中から本人の思いや意向を見出すよう努め、困難な場合でも表情などから把握するようにしており、本人本位の検討が行なわれています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見、要望を聞きながら、職員間でのアイデアなどを協議して本人が最適に暮らせるための介護計画、また、結果が反映されるような計画作りが行なわれています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しについては、通常は3ヶ月をスパンとして見直しが行なわれ、家族の希望や職員の意見を参考に話し合いが持たれ新たな計画が作られています。また、本人の状況の変化においては、都度計画の見直しが行なわれていますが、日々のアクティビティーに関わるアセスメント不足及び折角作られた介護計画の目標や内容が日々の介護記録などに連動していません。	○	利用者のADL低下の傾向にあったとしても、残存の能力を引き出すアセスメントは重要であり、状況把握を行いつつ計画の見直しが肝要と思慮します。また、これら計画が日々の介護記録にしっかりと連動される必要があります。書式の工夫への取り組みを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況により、病院などへの通院送迎の早期対応や買い物など利用者の要望に応える柔軟な支援が行なわれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がこれまで利用してきたかかりつけ医への継続した支援が行なわれていますが、現在では家族と相談しながら事業所が提携する協力医が従来のかかりつけ医に替わる傾向にあります。協力医は利用者の健康維持に配慮され往診を含め細やかな受診と治療が実施されています。また、提携看護師の週2回の訪問による指導も行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	昨年からの取り組み課題であった、重度化や終末期に向けた対応指針は作られ、十分な説明のもと家族等の同意も得ています。状況の変化に伴い、家族、医師を含めた話し合いが重ねられ、職員は全員で共有しながら状況に対応に支援が行なわれています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	昨年からの取り組み課題であった、面会簿の改善及び個人情報の機密に関する書類の管理改善など成果が現れています。また、居室トイレの遮蔽など利用者と家族に相談しながら長めの暖簾や家具など改善に向けた配慮がされています。職員は利用者一人ひとりの尊厳を大切にされた会話に努めています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでは、ある程度の一日の流れはあるものの優先することを避けながら、利用者の希望やペースを尊重して緩やかな生活の流れを大切にして支援しています。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	車椅子の利用者が、他の利用者のエプロン配りを行なうほか、食事の下拵えなど楽しみのひとつとなっています。食事介助が多い中、職員は全体の状況への気配りをしながら楽しい会話を交わすなどより一層雰囲気を高めています。また、下膳やテーブル拭きができる利用者は率先して行なっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一階の比較的大きい浴槽がある浴室など利用者の希望により入浴を楽しまれています。浴室を事前に暖める、また、床面にお湯を当して利用者が快適に入浴できるよう配慮していますが、全介助の利用者も多いことから職員の連携した支援に依るところが多く、週2回の楽しめる入浴が継続されています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者ができることへの支援を第一に配慮しています。職員との買い物、個人差があっても塗り絵への挑戦、縫い物やカラオケ、また、息子さんと碁会所に出かけ碁を楽しむ利用者など様々な楽しみごと、気晴らしへの支援が継続しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候に恵まれた場合は、できるだけ散歩や買い物など閉じこもりを避けての外出を勧めています。希望により家族と一緒に外食や系列法人からバスを借り受けて旭山動物園へ出かけるなど外出機会を作り、ストレスの解消にも配慮していますが、今年の場合インフルエンザの影響が大きくで外出の機会が減少しています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は防犯上施錠されていますが、日中は開放され出入りが可能であり、1～2階も自由な行き来をしています。居室では鍵をかける利用者もいますが、利用者任せにしています。		

旭川市 グループホーム プランタンV

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	現在、スプリンクラーの工事が行なわれていました。また、消防署の協力を得て、火災報知機の点検の際の避難訓練が併せて行われている他、夜勤専属職員の訓練が行なわれていますが、夜間を想定した緊急時の地域住民の支援、協力体制などへの働きかけが充分ではありません。	○	緊急時、とりわけ職員の少ない夜間などの避難には、地域住民の支援や協力が不可欠であり、日頃から具体的なマニュアルの整備と訓練が必要と思慮します。また、夜間を想定した避難訓練の充実に加え、救急救命の訓練などへの早急な取り組みが期待されます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立及び栄養のバランス検討は系列グループで全て行なわれて、ホームでは利用者一人ひとりの体調などを考慮して職員によりアレンジされた調理が行なわれ提供されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	1, 2階のユニットに区分され、利用者の状況に合わせた暮らしを支援するため、広い居間の配列も替える等配慮が見られます。増築を重ねて作られたホームで浴室への廊下には若干の段差があるものの、木製の簡易スロープの使用で解消するなど工夫が見られます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者と家族が相談して、馴染みの家具などが持ち込まれ安心の空間となっています。各室に設置されたトイレも長い暖簾や衣装ケースでプライバシーが確保される、また、植物の鉢が窓辺を飾るなど家庭的な雰囲気のある居心地の良さが感じられます。		

※ は、重点項目。